

平成23年行政事業レビューシート (外務省)

事業名	経済協力開発機構国際エネルギー機関(IEA)分担金		担当部局	経済局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	昭和50年度		担当課室	経済安全保障課		課長 大隅 洋		
会計区分	一般会計		施策名	経済協力に係る国際機関等を通じた経済・社会分野に係る国際貢献に必要な経費				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第四条第三項 外務省組織令第六十八条第三項		関係する計画、通知等	経済協力開発機構条約第20条2				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	国際エネルギー計画(IEP)の実施を通じて、短期及び長期のエネルギーの需給構造の改善、エネルギーの安定供給の維持等を図る。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	(1) 我が国のエネルギー安定供給に資するため、IEA加盟国との協調体制を維持・強化する。 (2) 石油供給のほとんどを輸入に依存している我が国は、石油供給中断の際、IEAの石油備蓄緊急放出制度等の緊急時対応により益するところが多い。 (3) 国際世論に影響力があるIEAが発するメッセージが我が国に有利になるように働きかける必要がある。 (4) アジア地域のエネルギー分野に対するIEA加盟諸国の支援を促進するために、我が国がリーダーシップを発揮する場としてIEAを戦略的に活用することが必要。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input checked="" type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算	—	—	—			
		繰越し等	—	—	—	—		
		計	604	519	361	383	353	
	執行額	604	519	361				
	執行率(%)	100.0%	100.0%	100.0%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値(23年度)
	エネルギー・鉱物資源価格が乱高下する中、国際エネルギー機関(IEA)への貢献を通じて国際的なエネルギー市場・貿易システムの安定化を図ることを目指した国際機関であり、加盟国数を参考指標とする。		成果実績	国	27	28	28	28
			達成度	%	100	100	100	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	①我が国のエネルギー安定供給に資するため、IEA加盟国との協調体制を維持・強化する。②石油供給の殆どを輸入に依存している我が国は、石油供給中断の際、IEAの石油備蓄緊急放出制度等の緊急時対応を講じる。③国際世論に影響力があるIEAへの取組を通じて我が国の国益を確保し、特に中国やインドなど今後エネルギー需要が大きく伸びるアジア地域のエネルギー分野に対する安定性を確保・促進させるための会議等。活動実績は我が国が参加している各委員会案件数。		活動実績(当初見込み)	会議数/年	9	10	9	—
						(9)	(8)	
単位当たりコスト	1,901(千円/1人)		算出根拠	日本の分担金額/IEA職員数(190名)				
平成23・24年度予算内訳 (単位:千円)	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	その他	382,657	353,102					
	計	382,657	353,102					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	－	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	IEAIは、会計年度終了後に決算書及び事業実施報告書が作成されるため、我が国は、これらの内容を精査・把握している。また、これらを踏まえ、新規予算作成の段階において事業の効率化等を理事会等で主張することにより適正な予算管理に努めている。		
予算監視・効率化チームの所見			
		日本の分担額・拠出額に応じて要求額を見直し	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
		日本の分担額・拠出額に応じて要求額を見直し	
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			